

企画展

数寄大名

池田治政

平成20年12月7日(日) — 平成21年1月25日(日)

●開館時間 9時～17時(入館受付は16時30分まで)

月曜日休館(月曜祝日の場合は翌日)

年末年始休館(12月28日(日)～1月5日(月))

●入館料 一般300円 高校生200円 小・中学生無料

友の会会員無料 障害者手帳提示の方・付添者・引率者無料

団体(20名様以上)、シルバーカード提示の方 2割引

●主催 財団法人 林原美術館

●後援 岡山後楽園・山陽新聞社

●ギャラリートーク 毎週土曜日 14時から(1月24日は15時30分から)



林原美術館

岡山市丸の内2-7-15 TEL(086)223-1733
http://www.hayashibara-museumofart.jp

「池田治政画像」(部分) 江戸時代

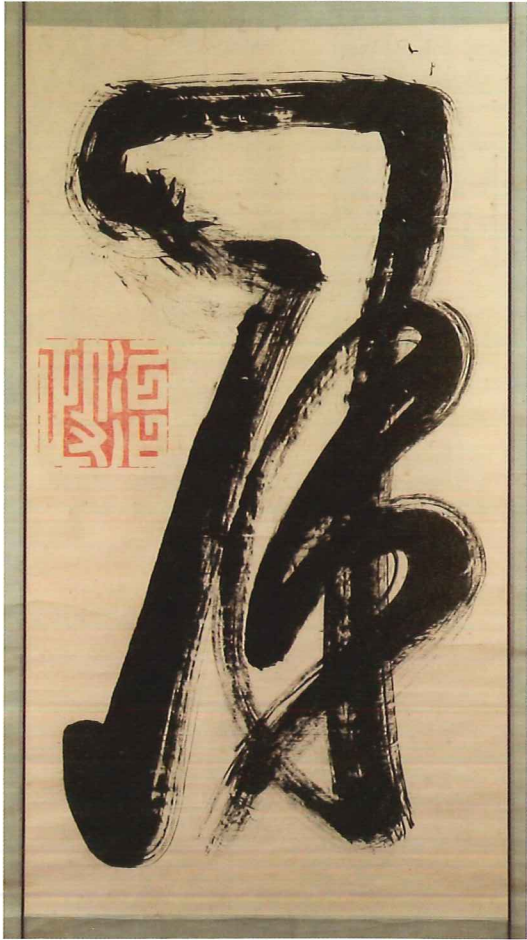
数寄大名 池田治政

歴代岡山藩主の中でひととき異彩を放ったのは、5代藩主池田治政(1750~1818)です。治政は人の意表をつくような大きい文字を好んで書いたことや、寛政の改革を行った松平定信をおそれぬ振る舞いをしたため、落首に「越中(松平越中守定信)に越されぬ山(岡山藩主池田治政)」とうたわれるなど、幕府の方針にも安易には従わぬ豪胆な人物として知られています。また学問を好み、しばしば藩学校や閑谷学校を訪れたり、維持費がかかる岡山後樂園の庭園の田畑を廃し、芝生を敷き詰めた現在の姿に生まれ変わらせています。後樂園に現存する茶室「茂松庵」を披いてしばしば茶会を開催しており、学問と茶の湯を修めた文化的な大名としても評価されています。

本展は当館所蔵の資料から、治政の書いた大小さまざまな書、使用した巨大な印章、所用の道具類、茂松庵と銘の入った釜と印章、制作した竹の花入などを展示し、治政の実像に迫る初めての展覧会です。治政の活動期は、藩主として活躍した時期と、隠居後に後樂園で文化活動を行った時期に分ける事が出来ます。岡山藩主として藩政の舵をとった治政は、岡山藩政の改革や文化活動に積極的に取り組み、隠居後は後樂園での生活を楽しみました。岡山城下で茶の湯が盛んになるのはまさにこの時期で、茶の湯を通して町人と親しく交際していた治政の影響が大きいと考えられます。

本展を通して、池田治政の独特の数寄の世界をご覧くださいと思います。

監修:神原邦男
(川崎医療福祉大学教授)



「月」 池田治政筆 江戸時代



茶壺 銘志賀 16世紀



茂松庵茶釜 江戸時代



一重切花入 池田治政作 江戸時代



後樂園図 池田治政筆 江戸時代

林原美術館

HAYASHIBARA MUSEUM OF ART

〒700-0823 岡山市丸の内2-7-15 TEL (086)223-1733 FAX (086)226-3089

<http://www.hayashibara-museumofart.jp>

*車椅子対応の設備あります。

交通/JR岡山駅から徒歩25分/路面電車[東山行]県庁下車徒歩7分

岡電バス[岡電高屋行]県庁前下車徒歩3分

宇野バス[瀬戸駅前行・四御神行]県庁前下車徒歩3分



次回予告

企画展 「大名の装束—生活の美—」
平成21年2月1日(日)~3月22日(日)

池田輝政・利隆・光政・綱政を中心に、備前池田家に伝来する藩主の衣装類や、婦人・子供の衣装を展示します。これまで知られていなかった衣装類をはじめ一堂にご紹介いたします。